

自社の設計を点検する8つのチェックリスト

G検定を「受講で終わらせない」ために、自社の設計を8つの問いで点検します。**答えられない項目が、自社の設計のつまずきどころです。**上の問いから順に埋めていくと、後ろの問いも決めやすくなります。

	問い	確認の目安(こう言えばOK)	答えられないとき(次の一手)
人材の定義	☐ 1 役割ごとの目指す姿を言葉にしていますか？	役割ごとに、「何ができる人になってほしいか」を一文で言える	まず役割の分け方から決める。人事・DX推進・管理職・現場など、自社の実態に合わせてよい
	☐ 2 対象部門と人数を決めていますか？	最初に回す部門を1つ挙げ、対象の役割と人数を言える	課題が明確な部門を選ぶ。AI活用が一部の部署に閉じている、推進役がいない部門が最初のテーマ
必要なスキルの定義	☐ 3 共通の基礎と役割固有を分けていますか？	基礎(全員)と役割固有のスキルを、別々の一覧に書き出せる	全役割に共通するものから切り出し、基礎のゴールを具体的な言葉で書く
	☐ 4 基礎の到達点をG検定で置けますか？	到達点を「合格」「受講」など、誰が見ても判定できる形で決めている	学習時間(目安約30時間)から逆算して受験時期を決める。G検定以外で置くこともできる
研修と行動設計	☐ 5 取得後の行動目標を先に決めていますか？	役割ごとに「いつまでに・何を・どの業務で・誰と共有するか」が書けている	受講前に、受講者本人と上長で決める。「試す→振り返る→共有する」を研修に組み込む
	☐ 6 効果を測る指標を事前に決めていますか？	実施指標(受講者数・合格率)と行動指標(取得後の行動)の両方が決まっている	研修後の行動を評価指標にする。業務効率・アウトプットの一致度・スキルアップの3観点で確認
次のレベルと部門展開	☐ 7 役割別のLevel 2を用意していますか？	役割ごとに、G検定の次に受ける研修(学習内容)を1つずつ挙げられる	役割別のLevel 2の例や次の資格(データサイエンティストならE資格など)を参考に、学習時間とあわせて置く
	☐ 8 部門展開の順番を描けていますか？	「最初の部門→次の部門→全社」の順に、時期と狙いを説明できる	課題が明確な部門で進め方を型にして横展開する。経営層・管理職を巻き込む

答えられなかった項目(番号)

次の一手(いつまでに・誰が・何を)

AVILENのご支援 G検定対策講座などの研修と、人材の定義から育成計画までを描くロードマップ策定の両方でご支援しています。

G検定対策講座:service.avilen.co.jp/g_service_document / ロードマップ策定:service.avilen.co.jp/roadmap_pamphlet